

日本初公開

キンゼイコレクション 現代根付

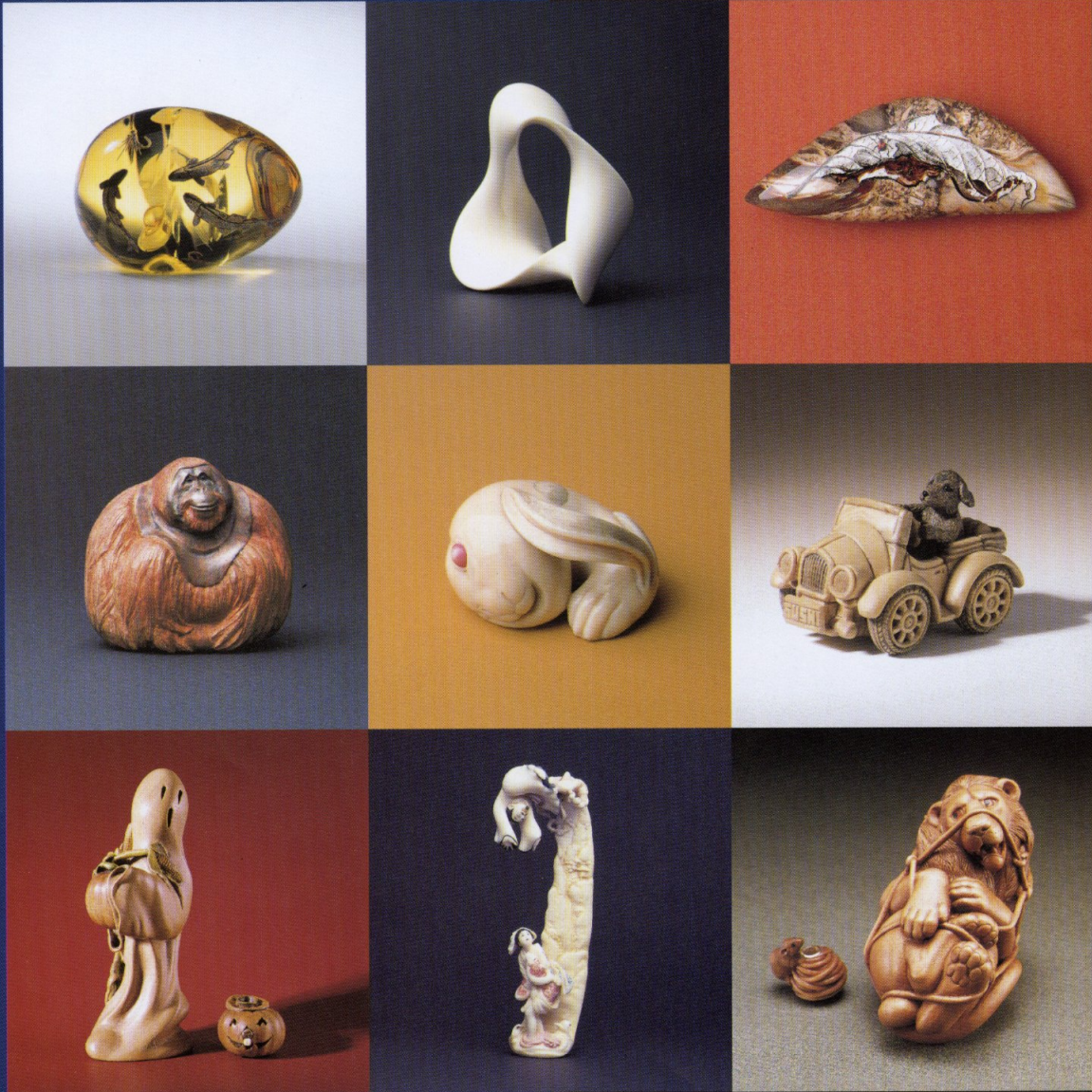
— 手の中の森羅万象 世界の匠たち —

賛助出品: 高円宮コレクション

新世紀・市制施行80周年記念
第15回国際美学会議協賛

CONTEMPORARY NETSUKÉ: THE KINSEY COLLECTION

ACCOMPANIED BY H.I.H. PRINCE TAKAMADO COLLECTION



2001年8月7日(火) — 9月24日(月・祝)

午前10時 — 午後6時 / 金曜日は午後8時まで (入館は閉館30分前まで) 月曜日休館 ただし9月24日(月・祝)は開館
入館料 = 一般800円(640円) / 高・大生560円(450円) / 小・中学生240円(200円) ()内は前売・団体30名様以上

夏休み期間(8月中)は小・中学生は入館無料

* 前売券は、JR東日本びゅうプラザ(9月24日まで)、千葉市美術館ミュージアムショップ(7月29日まで)ほかで発売

主催 = 千葉市美術館 後援 = アメリカ大使館

[同時開催] 千葉市美術館所蔵 浮世絵名品展

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

お問い合わせ先: ハローダイヤル 043-227-8600 URL = <http://www.city.chiba.jp/art>

針谷祐之 (鮫) 琥珀・海胆 1987年 高円宮コレクション	マイケル・バーチ (メビウス連環) マンモス骨 1997年 高円宮コレクション	グアルスト・シュルツァー (鯉) クリスタル、包山、日本 2001年
小林純彦 (猿の人) ブライアー 1995年 高円宮コレクション	立原寛玉 (幻術) 象牙 1973年	高木重雄 (オーブ・クレーの BUSUJIN) 象牙 2000年
デヴィッド・カーン (ハロウ・ウィッチのおばけ) 象牙 1988年	藤田謙之 (久米仙人) 象牙 1998年 高円宮コレクション	スーザン・レイト (ヤック・輪廻) 象牙 1999年

CONTEMPORARY NETSUKES: THE KINSEY COLLECTION

ACCOMPANIED BY H.I.H. PRINCE TAKAMADO COLLECTION

根付とは、印籠、煙草入れなどの提げ物を着物の帯に吊り下げるために、紐の先端に滑り止めとしてつけて用いられていた小さな彫刻です。いわば江戸時代版携帯ストラップのマスコット。実用上、小さくて丸みがあり、360度どこから見ても成り立つこと、紐通しの穴があることが求められ、その制約を逆手にとって機知に富むデザインや驚くべき技巧が凝らされています。

日本の細密工芸美術の粋ともいえる根付は、明治維新後、浮世絵と同様あるいはそれ以上に、海外に大流出しました。欧米での熱心な愛好や美術館・博物館における展示、そして長い研究の歴史に比べると、日本国内では根付の認知度はまだ低く、その制作が連続と受け継がれ、さらに新鮮な感覚を盛り込んだ「現代根付」と呼ばれるカテゴリも確立されてきたことについては、残念ながら一般にはあまり知られていないのではないのでしょうか。

現代の根付は、用いられる素材、テーマとも格段にバラエティー豊かなものとなっており、作家も世界に広がっています。意表をつくアイディアに満ちた作品がこの世界に活気をもたらし、現代ならではの面白く凝った作品も増えています。

この展覧会は、このような「現代根付」の知られざる世界を、アメリカのキンゼイコレクションに高円宮憲仁親王殿下コレクションからの賛助出品を加え、計350余点の作品により紹介するものです。キンゼイ夫妻は現代根付に関する初の本格的な著作である *Contemporary Netsuke* を1977年に出版するなど、いち早く現代根付の魅力を紹介され、その発展に力を尽くしてこられた、「現代根付の育ての親」です。本展は現代根付に関する過去最大規模の展覧会であり、日本の美術館としては初めての催しとなるものです。



ニッケラム(十二支 大晦日の夜シリーズ)黄楊 1994-98年

【イベント案内】

◆根付制作 実演と解説 シリーズ

いずれも午後1時30分より(開場午後1時)11階講堂にて 入場無料/先着150名様

8月19日(日)「根付の彫刻—象牙を彫る」

講師：駒田柳之氏 (国際根付彫刻会会長)

女性の顔彫りなどの実演を交え、根付彫刻の歴史、道具、材料などについても解説

8月25日(土)「根付の彫刻—黄楊を彫る」併設：ミニ体験コーナー

講師：東 声方氏 (日本象牙彫刻会会長)

根付に最もよく用いられる黄楊の木を用いて、制作のさまざまな工程を披露

9月9日(日)「根付のさまざまな装飾テクニック」

講師：黒岩 明氏 (国際根付彫刻会役員/ジュエリーデザイナー)

漆や金属、そして現代的な新しい材料なども用いて「現代根付」制作に生かされるさまざまな技法を紹介

◆出品作家によるギャラリートーク

8月11日(土) 午後1時30分より

講師：駒田柳之氏 (国際根付彫刻会会長)

参加自由/8階展示室入口にお集まりください

◆ギャラリートーク (担当学芸員による)

8月21日(火)、28日(火)、9月8日(土) 午後1時30分より

◆さや堂コンサート「張勇 胡弓 悠久の音色」出演：張勇(二胡)ほか(揚琴、琵琶)

9月15日(土) 午後2時より(開場午後1時30分)1階さや堂ホールにて

入場無料/展覧会チケット(招待券不可)をご提示下さい

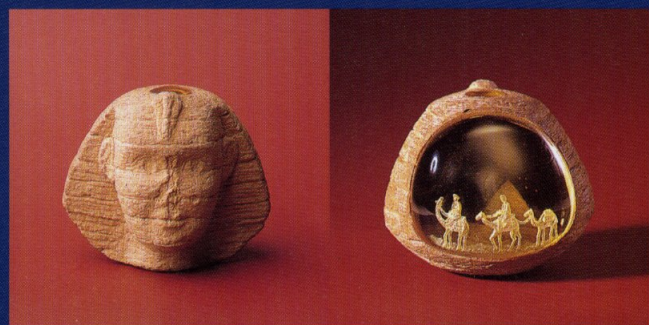
お申し込みは、往復葉書にて美術館まで(お問い合わせ: Tel. 043-221-2311)

〆切は8月26日/定員150名(申込多数の場合は抽選)

○次回展予告

「日本の版画1920-1930 都市と女と光と影と」 9月18日—10月21日

両展を御覧の方は入場料が割引になります(ただし9/18—9/24の期間)



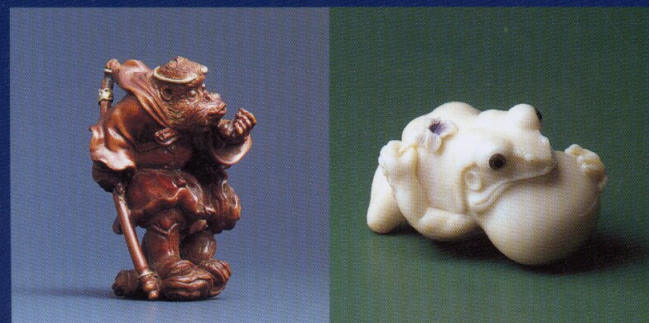
高木喜峰(ナイルの星)木、琥珀 1999年 (表)

(裏)



福田一郎《雪舟》象牙 1959年 高円宮コレクション

森 哲郎《笛吹童子》黄楊 2001年



東 声方《孫悟空 分身の術》黄楊、金 1996年 高円宮コレクション

糟谷一空《プロポーズ》象牙 1984年

【交通案内】

●JR 総武線千葉駅東口より

徒歩約15分

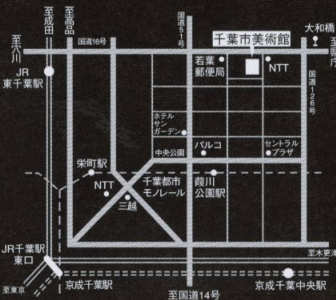
京成バスのりば⑦より「大和橋」下車2分

千葉都市モノレール県庁前行き

「葭川公園」下車5分

●京成電鉄千葉中央駅東口より徒歩約10分

●東京方面より車では
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ
貝塚1C下車、国道51号を千葉市街方面へ約3キロ、広小路交差点近く(地下駐車場あり)



千葉市美術館

千葉市中央区中央3-10-8 Tel. 043-221-2311 (代)
http://www.city.chiba.jp/art